

滋賀県大津市大石地区の天ヶ瀬ダム湖畔において、地元の団体との協働活動、環境保全の一環として、昨年度の秋季に引き続き、今回は冬季の植生状況を体験していただく『大石地区植生体験会』を開催しました。

現地調査として、一定エリア内における植生モニタリングを実施、その後ワークショップによるグループ討論を行い、「大石地区をどのように活用したいか」「今後の課題及び活動内容」について議論し、最後に全体のとりまとめをしました。

## 体験会概要

日時：平成26年1月21日（火）13:00～16:30

場所：天ヶ瀬ダム湖畔（大石地区）、大石公民館

参加人数：17名 対象：NPO法人「瀬田川リパブレ隊」、琵琶湖河川レンジャー、大石支所職員

主催：淀川ダム統合管理事務所 運営：日本工営（株）

## ■現地調査：植生モニタリング

・植生モニタリングとして、専門家より、植物の種類、分布状況について、現地の自生状況の説明を聞き、その後グループに分かれ、以下の調査を実施しました。

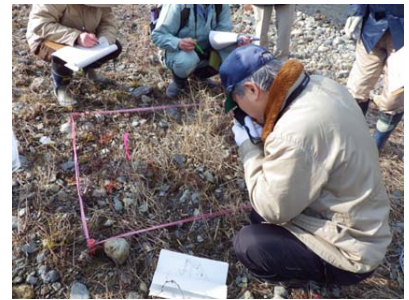
①一定エリアにおける植生の写生

②1m四方のコドラート4カ所における植物分布の調査

①においては、オギ群落を中心に、ヤナギタデ、ツルヨシの生えている状況を写生。冬季ということもあり、冬枯れや小さな芽吹き姿も見られました。②においては、コドラート内の植物の種類、階層、被度の記録をとっていただきました。



現地植生状況の説明



植生の写生及びコドラート調査における記録作業の様子

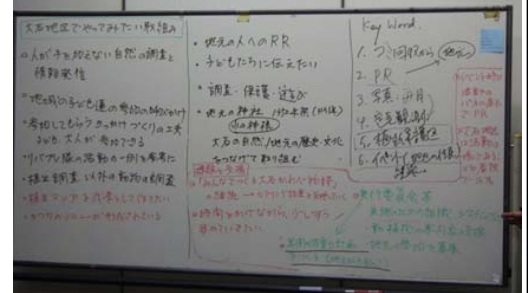
## ■ワークショップ：グループ討論及び全体のまとめ

・植生モニタリングの後、大石公民館で、グループ分けによるワークショップを開催。「大石地区をどのように活用したいか」「今後の課題及び活動内容」について、活発な討論が実施されました。

・主な意見としては、「今後イベント等を開催する際は、地域も含めた取り組みを継続して実施していくべき」「広く活動を知ってもらうためPRの充実を」「組織をつくって行政もバックアップした体制作りが必要」など、積極的な意見があげられ、全体では意見を持ち寄り確認しました。

・まだ小規模で始まったばかりの取り組みですが、この豊かな自然をひとつのきっかけとして、今後の大石地区の環境保全に向けて、次年度以降、活動を広げていきたいと考えています。

## 成果：ワークショップ全体の意見



ワークショップの状況

## 【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局  
 淀川ダム統合管理事務所 広域水管理課  
 〒573-0166 枚方市山田池北町10-1  
 TEL 072-856-3131

